

【モスソイル仕様】

○基本仕様		コンクリート施工では施工しづらい環境課題へアプローチします！
1. 自然とマッチした景観	天然の真砂土・山砂が主成分のため、色合いは自然土とほぼ変わりありません。 ※既存の白舗装や黒舗装と違い、殺伐感を与えません。	
2. 透水性と保水性	緩やかな透水性が雨水を吸水し樹木に給水が可能となり、優れた保水性により 土壌の乾燥を防ぎ、植樹の生長を促進させる効果があります。 また、保水した水分が蒸発時に舗装面の熱を奪う事で、照り返しの軽減やヒート アイランド現象の緩和になります。	
3. 土壌還元	主成分が天然資材であり添加材等に重金属等有害物質を一切含まれていないこと、 かつ、排水の安全基準(環境庁告示第59号基準の分析結果より)を満たしており、 不要時は破碎して残土として土壌還元することができます。	
4. 防草効果	表層を固めることで下からの雑草を抑制する事ができます。 中央分離帯やガードレール下に使用することで安全面の確保につながり、公園の 歩道や建物のアプローチ部分に使用することで景観の維持につながります。	
5. 施工性	不陸整正した路盤上に本材料を均一に敷き均し散水するだけの簡易な施工性をも っているため、工期の短縮につながります。 また、現地練りではないので、重機や熟練工を必要とせず補修の場合にも部分カ ット後、本材料の充填・散水で済み、維持管理が容易です。	

【モスソイル用途】

○標準用途					
使用条件	用途	工法	施工厚 (mm)	1㎡あたり 重量(kg)	1㎡あたり使用量(袋) ※ロス分10%込
人が舗装面に乗らない	植樹柵・中央分離帯・ 路側帯等	シャワー工法	40	64	3袋
人の乗り入れがある2tまで の車両が乗り入れる程度	園路・施設周り・ 歩道・法面等	シャワー工法	50	80	4袋
2t～8tまでの車両が乗り入 れる程度	駐車場等	練り工法	60	96	4.5袋

○カスタマイズ用途（開発案件実績）…材料開発(機能性・施工性・意匠性)の強みで、市場課題を解決します！				
使用条件	汎用施工上の課題	工法	開発材料	備考
傾斜角が30度以上の法(のり)面	ダレ(流出)の発生	練り工法	—	—
急斜面(法面)、 広範囲の法面	ダレ(流出)の発生 施工人工短縮	吹付け工法	—	—
真水調達困難なエリアでの施工	水の調達性、 pH管理について	— (材料開発)	海水土ソイル	—
汚泥の無害化 (ぬかるみ軽減、ヘドロの残土化)	—	— (材料開発)	汚泥無害化ソイル	重金属無害化 二次製品化
焼却灰の無害化ソイル (重金属無害化)	—	— (材料開発)	焼却灰無害化ソイル	重金属無害化 二次製品化
芝は生やしたいが雑草は抑えたい	環境緑化	シャワー工法 & 緑化施工	—	—

〒101-0025

東京都千代田区神田佐久間町3-23

スタウトビル6F

MITSUISHI 三石物産株式会社